



全日本自治団体労働組合 北海道本部 〒060-0806 札幌市北区 北6西7北海道自治労会館 電話 011-747-3211 FAX 011-700-2053 編集・発行 谷川 広美

2013春闘 『大型はがき』ではねかせ 給与削減は政府の暴挙

今年の春闘は、各単組で要求書の提出を終え、これから本格的な交渉に入る。人制制度による賃金競争を意識し、春闘期を「年間の賃金競争サイクルのスタート」と位置づけて交渉をはじめなければならない。さらに、「地公給と削減反対のたたかい」も、春闘期に『大型はがき』や『自治体意見書決議』の取り組みを開始する。

政府はインフレターゲット政策のために、経団連に対し労働者の賃上げを要請したが、労働側への追い風となるかどうかは、今後の経営側の判断となる。民間春闘の山場は3月中旬としている

が、交渉の進捗状況を今後見極める必要がある。春闘期に全単組で要求書を提出し、今後1年間の労使関係ルールに関して、労働条件に係る事項を、しっかりと交渉・協議することを確認しなければならぬ。また、合意事項については、書面確認することも重点的に取り組むべき課題だ。公務における臨時・非常勤職員の処遇改善は重要課題。非正規労働者の劣悪な労働条件の放置が

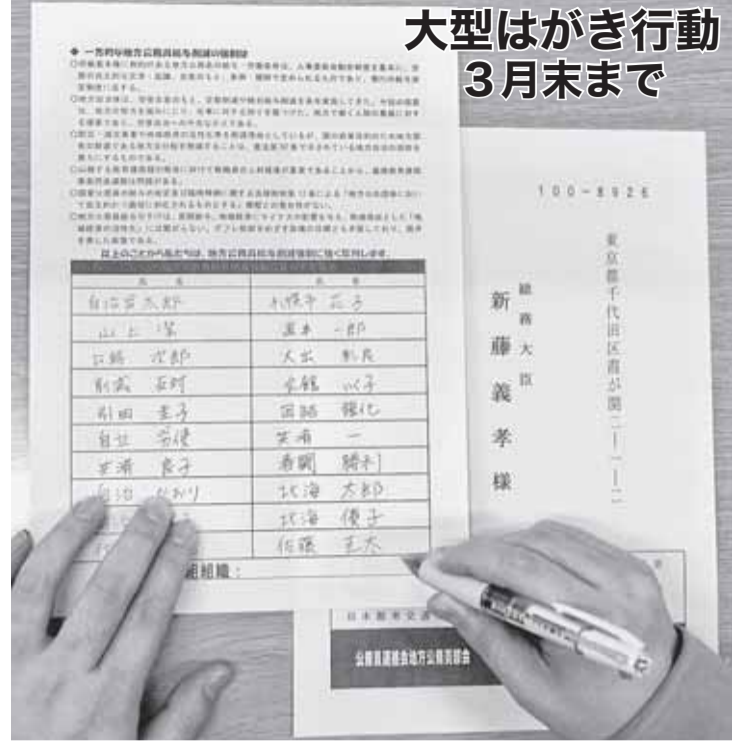
正規労働者の処遇を低下させているとした事実をしっかりと受け止める必要がある。各単組では、「何ができるのか」具体的に議論し、少しずつでも前に進めていかなければならない。

改正は行わない方向であるため、自治体で、どのように再任用制度の義務化をはかるかが課題だ。政府の地方公務員の給与削減要請は地方自治の根幹に係る課題であり断固認められない。『大型はがき』など自治労の組織力が本場に試されるたたかいとなる。道本部は3月5日の拡大闘争委員会で、臨時大会以降の経過と情勢を踏まえ、方針を補強する予定。各地単組が一丸となって政府自民党の暴挙に対決していかねばならない。

3月15日には全国統一行動日として29分ストを配置し、春闘期の要求の前進にむけて各単組で交渉が繰り広げられる。要

札幌駅周辺は、中国、韓国、台湾の観光客であふれている。メテオでは、今にも戦争が起きそうな報道がめだつ一方で、肩寄せ合っつてショッピングしている外国人と日本人。まったく平和な感じだ。「戦争への道を煽るのは誰だ」

歴代委員長リレーエッセーは、7代目の笠井正行さんが登場するところだが、笠井さんは2005年3月16日に亡くなった。1995年から1999年まで道本部委員長を務めた笠井さん。座右の銘は「和をもって貴しとなす」。



『大型はがき』の取り組みは、自治労の組織力が試されるたたかいだ。1人5筆やりきろう

峰崎直樹さんが、内閣官房参与時代に発信していた『官邸お庭番日誌』が昨年12月に終了し、自治労北海道学校学監就任後、2月12日から、新たに『チャランケ通信』を発信している。道本部ではほぼ毎週月曜日、ホームページに掲載。【単組・組合員専用】パスワードは、

みなさん新たに発信『チャランケ通信』

自治労道本部結成50周年・歴代委員長リレーエッセー 4



三輪さんは、1999年～2001年に委員長を務めた

三輪 修彪さん (69歳 第8代委員長)

「団結はダサイものではない」

1990年代の政治経済社会の激動は、21世紀の内外の混沌を予感させるものであった。ソビエト連邦の崩壊、東欧諸国を席卷した民主化の嵐、東西冷戦の象徴だったベルリンの壁の崩壊、日本では55年体制の崩壊と社会党村山内閣の誕生、バブル経済がはじけ急速なグローバル化のもとでの長期不況などである。失われた10年がささやかに、公務員バッシングが激しさを増した頃、私は道本部委員長の任務をいただいた。公共民間の組織化を掲げ、厳しい環境下でも積年の伝統を保っていた自治労だったが、

求書の提出・交渉の実施・妥結事項の書面化をしっかりとやりきり春闘期の取り組みに全力をあげよう。

JICHIRO スケジュール

3月	
4日(月)	第13回執行委員会 (札幌市)
5日(火)	道本部拡大闘争委員会 (札幌市)
	2013道本部自治体財政セミナー (札幌市)
	全道メーデー実行委員会 (札幌市)
6日(水)	連合北海道2013春季生活闘争・第23回参議院選挙勝利総決起集会 (札幌市)
9日(土)	つながろうフクシマさようなら原発北海道集会 inいわい
	3.8国際女性デー全国統一北海道行動 (札幌市)
11日(月)	東日本大震災・福島第一原発事故から2年さようなら原発北海道講演会 (札幌市)

道本部ホームページ

自治労北海道 ユーザー名:hokkaido
組合員専用ページは パスワード:jichi2009

今年3月に退職される皆さんへ

自治労共済の総合共済基本型

詳しくは所属する組合にお問い合わせください

自治労共済 http://www.jichiro-kyosai.jp/

すべてに該当される方は退職金別金の請求をお忘れなく!

他の共済種目の手続きとあわせて、総合共済基本型「退職金別金」(1口2万円)の請求手続きも忘れずに!

キョーサイくん

交渉力アップ!

『要求』は組合員とキャッチボールで

公共サービス 民間労組協

道本部公共サービス民間労組協議会は、春闘要求の確立と労使交渉の実践にむけ、組織力を高めることを目的に2月17日、かでの2・7で「交渉力アップセミナー」を開催し、34人が参加した。

講師の自治労本部・本間オタル氏が、要求書作成、模擬団体交渉にむけて講演した。本間さんは「要求書づくりや交渉は、みんなで行うことで組織の力になる」と話し、交渉前に「会社の経営分析、財務状況を把握すること、賃金交渉がむずかしくても必要。売り上げがなくて賃金交渉がむずかしくても休暇など労働条件の交渉はできる。要求する事項がないと聞かぬが、ありえない。日頃から組合員とのキャッチボールができていけば小さなことでも要求がでてる」と、日常的な労働組合運動の必要性を訴えた。さらに「合意事項は事務折衝で



話し合って要求書をつくり模擬団交に臨む参加者=2月17日

は、単組もあるが、法的には何の効力もなく、あくまでも回答。交渉し、合意内容を書面に残すことが重要だと強調した。その後、参加者はグループに分かれ、仮定の社協プロフィールを基に職場の問題点を話し合い、要求書を作成し模擬団交を実施した。

2月17日、かでの2・7で自治労社会福祉協議会ネットワーク北海道(社協ネット北海道)設立総会を開き37人が参加した。

社協ネットは自治労道本部に加盟する社会福祉協議会の単組と、自治体単組に属する社協組合員が、地域での役割や福祉サービスの拡充、労働組合活動の情報交換を強めること、また、未組織職場の組織化を主な活動内容としている。

総会で選出された萩原代表は、「いろいろな職場の声を受け止め、社協職員が自ら考え、どう伝え広めるのか、一つのツールとして社協ネットを活用しよう。187社協のうち組合がある自治体は16。仲間を声をかけ、皆

2月17日、かでの2・7で自治労社会福祉協議会ネットワーク北海道(社協ネット北海道)設立総会を開き37人が参加した。

協会の単組と、自治体単組に属する社協組合員が、地域での役割や福祉サービスの拡充、労働組合活動の情報交換を強めること、また、未組織職場の組織化を主な活動内容としている。

さんの方でネットワークを大きくしよう」と呼びかけた。



設立総会に集った37人の参加者

道本部消防職員協議会が、2月20～21日、自治労会館で「道消協青年・女性研修会」を開き、81人が参加した。

研修会では、消防職員と労働基準法との関係や、消防職員の変形労働時間性の問題点を学習した。その後、経営者の不当な圧力や経営方針も

道本部消防職員協議会と、消防自動車製造会社に働く橋本さんが、支部長になり取り組んだ「田井自動車労組結成・たたかい」について講演した。平気で法律を無視し、不当労働行為を繰り返す経営者と労使対等に

なるためには、組合結成が必要だと学んだ。

とで、消防自動車製造会社に働く橋本さんが、支部長になり取り組んだ「田井自動車労組結成・たたかい」について講演した。平気で法律を無視し、不当労働行為を繰り返す経営者と労使対等に

なるためには、組合結成が必要だと学んだ。

労使対等には組合が必要

あいくみの国会だより 19



相原久美子の国会だより

政権交代後の国会がはじまりました。参議院における総理への代表質問では、民主党・藤田議員が「デフレ脱却と言いつつ地方公務員の給与の引き下げを求めるのは整合性が悪いわけではありませんが、国民生活優先、地方活性化が軸でなければ、新自由主義の先祖帰りではありません。大型花火の比較対象範囲がおかしい」と言及しました。しかし、総理から一切の答弁がありませんでした。また、補

政権交代後の国会がはじまりました。参議院における総理への代表質問では、民主党・藤田議員が「デフレ脱却と言いつつ地方公務員の給与の引き下げを求めるのは整合性が悪いわけではありませんが、国民生活優先、地方活性化が軸でなければ、新自由主義の先祖帰りではありません。大型花火の比較対象範囲がおかしい」と言及しました。しかし、総理から一切の答弁がありませんでした。また、補

「労組がない」過酷さ知った



職場だより

2月16、17日の両日十勝地方本部青年女性春闘討論集会を音更町で開催し、104人(うち女性44人)が参加しました。

基調講演は、道本部賃金労働部・根本圭次氏が「公務員制度改革」について講演し、「公務員は現在逆風の中にある。制度改革でさらなる困難が予

想される。基本組織だけではなく青年女性も一緒に頑張ろう」と呼びかけ、参加者は置かれている状況認識を新たにしました。

ふたつ目の講演「他単産春闘の状況」では、札幌地域労組鈴木一書記長が講演しました。鈴木さんは、特養や車体メーカー

1の労組結成を事例にあげ、労組がないために使用者に改善要求がでず過酷な条件下で働いている実情と、労組結成後の映像を交え話しました。

参加者は公務員の労働権回復後の労使交渉など、今後の労働運動の参考にとしようと、真剣に聞いていました。

分散会では、「採用1年目から250時間も残業している」といった青年・女性の悩みや問題を話し合い、それを共有し、有意義な集会となりました。

た。(十勝地方本部青年部長・遠藤浩一) 足寄町

道本部青年部で提起した『あいくみ再選激布』を持つ参加者(2月16日)

道本部青年部で提起した『あいくみ再選激布』を持つ参加者(2月16日)

チャレンジ! チルドレン・ファースト 14

「学童保育」が市町村事業に!?

新制度では、放課後児童クラブ(学童保育)が市町村事業となり、各自治体は運営基準等の「条例化」が必須となります。今後、国が省令で基準を示すことになっていきます。また、市町村の公有財産(学校の余裕教室など)の貸付けなどによる事業の促進もつたわられています。

市町村の事業計画策定にあたっては、学童保育の充実についても関係者の意見をしっかりと聞きながら取り組む必要があります。

忙中余話

札幌に来てりましたが、職場のようすは変わりなく同僚は元気でやっています。しな年まで勤務していた福祉事務所は朝からおりの、受給者からも不安電話が鳴りつづき、市民が厚労省に電話した方もいたそうです。そのよう

の方からの苦情対応、絶え間なく続く生活相談、議員からのかなり無理な相談と要望、人員不足など、今考えると普通ではない職場環境だと思えます。おそらく道内の福祉事務所も同じ状況ではないかと思えます。そのよ